

〔国際会議〕

| | | |
|--------|---|---------|
| 申請者 | 前橋工科大学 副学長（研究・地域貢献担当） 今村 一之 | 2035002 |
| 研究集会名 | 知的メディア技術，脳・健康情報学国際会議 2013（AMT-BHI 2013） | |
| 開催期間 | 2013年10月29日～10月31日 | |
| 開催場所 | 前橋テルサ（群馬県前橋市） | |
| 申請者の役割 | 会議統括 | |

概 要：

会議のテーマである AMT（Active Media Technology：知的メディア技術）は、コンピュータ科学や情報技術を融合した知的情報技術に関する学際分野である。また、BI（Brain Informatics：脳情報学）は、近年の脳研究の発展を踏まえ、脳の知覚から思考に至るまでの認知機能を系統的に研究する新しい学際分野である。

このような人間と機械を中心とした脳や知的メディアに関わる本国際会議において、人間の特性を考慮した新たな機械のあり方や、機械が人間の考えをどう理解するかといった議論が深められた。本会議では、「人間と機械の調和の促進」に大きく貢献する事を目的に、特に、AMT・BI・HI（健康情報学）の相互の研究促進や創発性により、個々の研究分野に新風を吹き込むことを目標とした。

基調講演(7)、招待セッション(2)、ワークショップ(4)、特別セッション(8)、が実施され、査読により採択された学術講演数は、187 演題、37カ国から 200 名以上の参加者があった。最終日の午後には、群馬大学重粒子線医学研究センターへの視察等が実施され、生命健康都市前橋への地域貢献も果した。

本国際学会の主な成果としては、高い学術レベルの論文集をそれぞれ、Active Media Technology (Springer LNCS8210)、Brain and Health Informatics (Springer LNAI8211) として上梓できたことである。また、本会議の成功により、新たな学術ジャーナル(オープンアクセス)が刊行されることが決定したことも大きな成果であった。